

**国際共同研究事業**  
**欧州との社会科学分野における国際共同研究プログラム**  
**(Open Research Area for the Social Sciences)**  
**平成 29 年度実施報告書**

平成 30 年 4 月 16 日

独立行政法人日本学術振興会理事長 殿

所属機関・部 局 早稲田大学・政治経済学術院

職・氏名 (ふりがな) 教授・船木由喜彦

1. 事業名 国際共同研究事業欧州との社会科学分野における国際共同研究プログラム
2. 研究課題名 (和文) 金融市場安定化のための実験・行動経済学的分析及び制度設計の研究  
(英文) Behavioral and Experimental Analyses in Macro-finance
3. 共同研究実施期間 (全採用期間)  
平成 28 年 1 月 1 日 ~ 平成 30 年 12 月 31 日 ( 3 年 0 ヶ月)
4. 研究参加者  
(1) 日本側参加者 14 名 (2) 欧州側研究者 (代表者・各国代表者) 23 名
5. 主要な物品購入状況 (一品又は一組若しくは一式の価格が 50 万円以上のもの)

物品名	仕様 型・性能等	数量	単価(円)	金額(円)	設置研究機関名

備考：50 万円以上の物品を購入等した場合のみ記入してください。

6. 人件費使用状況

氏名	金額	雇用期間	専門及び本研究における役割
権 孝智	68900	平成 29 年 5 月 25 日 ～3 月 31 日	実験実施の補助
青木 真弓	350528	平成 29 年 6 月 1 日 ～9 月 30 日	本プログラム実施の事務的サポート全般
篠田 太郎	48750	平成 29 年 5 月 22 日 ～3 月 31 日	実験実施の補助
中川 彩野	87100	平成 29 年 5 月 17 日 ～3 月 31 日	本プログラムの広報 web 作成、各種申請書類作成補助
本庄 一樹	4550	平成 29 年 6 月 29 日 ～3 月 31 日	実験実施の補助
藤本 裕大	19200	平成 29 年 11 月 4 日 ～11 月 5 日	シンポジウム開催の補助
吉野 隼平	19200	平成 29 年 11 月 4 日 ～11 月 5 日	シンポジウム開催の補助
南 英明	52250	平成 29 年 12 月 12 日 ～3 月 31 日	実験実施の補助
大津 桜子	5500	平成 29 年 12 月 12 日 ～3 月 31 日	実験実施の補助
石 憲肇	7150	平成 29 年 12 月 12 日 ～3 月 31 日	実験実施の補助

備考：研究者及び専門技術員・研究補助者を雇用した場合のみ記入してください。

雇用期間の欄の記入例：「平成 27 年 2 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日」

7. 渡航実施状況

(a) 日本側参加者（代表者を含む）の国内出張

出張者 (氏名)	出発地 (都市名)	用務先 (都市名)	旅行期間*	用 務 (用務先・用務内容)	経費負担**
船木由喜彦	東京	京都	11月3日～ 11月5日	BEAM 京都国際会議参加	有
石川竜一郎	東京	京都	11月3日～ 11月6日	BEAM 京都国際会議参加	有
大角道子	長崎	京都	11月4日～ 11月6日	BEAM 京都国際会議参加	有
秋山英三	茨城	京都	11月3日～ 11月6日	BEAM 京都国際会議参加	有
船木由喜彦	東京	京都	12月8日～ 12月10日	行動経済学会参加	有
石川竜一郎	東京	福岡、長崎	3月21日～ 3月23日	研究に関する打ち合わせ のため	有
秋山英三	茨城	福岡	3月21日～ 3月22日	研究に関する打ち合わせ のため	有
計 7名 (延べ人数)			計 22日		

\* 旅行期間の欄の記入例：「6月10～19日、10日間」（現地到着日～現地出発日）

\*\* 本経費使用予定の有無を記入すること

(b) 当該年度に欧州側相手国を訪問した日本側参加者

出張者 (氏名)	出発地	用務先 (国名・都 市名)	旅行期間*	用 務 (用務先・用務内容)	経費負担**
船木由喜彦	東京	パリ	7月5日～7 月11日	SING13 参加、パリ大学訪問	有
渡邊直樹	東京	パリ	7月4日～7 月11日	SING13 参加、パリ大学訪問	有
大角道子	東京	マースト リヒト	8月30日～ 9月4日	EARIE 参加	有
計 3名 (延べ人数)			計 19日		

\* 旅行期間の欄の記入例：「6月10～19日、10日間」（現地到着日～現地出発日）

\*\* 本経費使用予定の有無を記入すること

(c) 当該年度に欧州側相手国以外の国を訪問した日本側参加者\*

出張者 (氏名)	出発地	用務先 (国名・都 市名)	旅行期間**	用 務 (用務先・用務内容)	経費負担***
船木由喜彦	東京	シンガポ ール	2月28日～ 3月5日	研究打ち合わせのため	有
船木由喜彦	東京	台北、福州	3月7日～3 月13日	研究打ち合わせのため	有
計 2名 (延べ人数)			計 13日		

\* 外国出張の渡航先は原則として、欧州側相手国のみを渡航先とします。ただし、当該共同研究の研究成果発表を目的とする学会等への出席や、フィールドワーク等で当該第三国へ行くことが必須である研究上の理由がある場合に限り、欧州側相手国以外の国を訪問することは可能です。

\*\* 旅行期間の欄の記入例：「6月10～19日、10日間」（現地到着日～現地出発日）

\*\*\* 本経費使用予定の有無を記入すること

(d) 当該年度に受入れた欧州側相手国研究者

出張者 (国名・氏名)	用務先	旅行期間*	用 務
----------------	-----	-------	-----

Martin Weber (フランス)	京都 立命館大学	11月3日～ 6日	BEAM 京都国際会議に参加し研究発表をするため
Yukio Koriyama (フランス)	京都 立命館大学	11月3日～ 5日	
Sandrine Jacob Leal (フランス)	京都 立命館大学	11月3日～ 6日	
Marc Willinger (フランス)	京都 立命館大学	11月3日～ 5日	
Jan Tuinstra (フランス)	京都 立命館大学	11月3日～ 5日	
Nobuyuki HANAKI (フランス)	京都 立命館大学	11月3日～ 6日	
Alan Kirman (フランス)	京都 立命館大学	11月3日～ 6日	
計 7名 (延べ人数)		計 25日	

\* 旅行期間の欄の記入例：「6月10～19日、10日間」(来日日～離日日)

## 8. 研究実施状況

※ 申請書の内容及び当該年度実施計画書の「6. 本年度実施計画の概要」と対応させつつ、当該年度の研究の実施状況を簡潔に日本語にて記入してください。

本プロジェクトは、実験経済学による研究とそれに基づく理論的研究の二段階で進めていくことに特徴がある。本年度は2016年度の基盤整備のもと、共同研究のさらなる活発化を行うため、日欧相互の訪問とワークショップ、共同研究実験を行った。具体的には

- 情報の非対称性によりバブルが起こる理由の確認
- IPO 価格付けの高騰の原因の究明
- 投機行動と他者の行動に対する推論能力の関係
- 国債取引における政府介入の役割
- 投資による利益の分配交渉
- 貨幣取引のオークション

を究明する実験を行った。

さらに、2016年度から継続する共同研究の成果を報告し、今後の共同研究の進展について議論を行うため、日本側研究者とヨーロッパからの研究者8名が一同に集う大規模なワークショップ (BEAM 国際ワークショップ) を本プロジェクトの研究協力者がいる立命館大学にて11月に行った。ここでの議論が中間報告成果

としてまとめられる。その成果は近日中に web に掲載する予定である。

また、他の研究プロジェクトの経費で招聘されたアリゾナ大学の Charles Noussair 教授および、その研究室出身で Ben-Gurion University of the Negev の Yaron Lehav 教授と本 BEAM プロジェクトに関して議論をし、欧州側メンバーとともに新しい共同研究を始めることにも合意した。さらに、日本側の各メンバーは、実験ラボを保有し、経済実験研究が盛んである高知工科大学、京都大学、関西大学などを訪問し、セミナーなどで、研究内容や研究の進展を報告して、参加者の方々から、意見やコメントをいただいた。

9. 研究発表（平成 29 年度の研究成果）

〔雑誌論文〕 計 (17) 件 うち査読付論文 計 (17) 件

通番	共著の有無*	著者名	論文標 題			
①	共著	Yukihiko Funaki, Jiawen Li, Robert Veszteg	Public-goods games with endogenous institution-formation: Experimental evidence on the effect of the voting rule			
		雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁
		Games	有	8(4), 52	2   0   1   7	doi:10.3390/g8040052
②	共著	著者名	論文標 題			
		Yokote Koji, Takumi Kongo and Yukihiko Funaki	The balanced contributions property for equal contributors			
		雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁
		Games, Economic Behavior	有		2   0   1   7	In press
③	共著	著者名	論文標 題			
		Yokote Koji, Yukihiko Funaki and Yoshio Kamijo	Coincidence of the Shapley Value with Other Solutions Satisfying Covariance			
		雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁
		Mathematical Social Sciences	有	89	2   0   1   7	pp.1-9
④	共著	著者名	論文標 題			
		Yokote Koji and Yukihiko Funaki	Monotonicity implies linearity: characterizations of convex combinations of solutions to cooperative games			
		雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁
		Social Choice and Welfare	有	49	2   0   1   7	Issue 1, pp.17 1-203
⑤	共著	著者名	論文標 題			
		Yokote Koji, Yasushi Agatsuma and Yukihiko Funaki	Random Reduction Consistency of the Weber Set, the Core and the Anti-Core			
		雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁
		Mathematical Methods of Operations Research	有	85	2   0   1   7	Issue 3, pp.38 9-405
⑥	共著	著者名	論文標 題			
		Takaaki Abe, and Yukihiko Funaki	The Non-emptiness of the Core of a Partition Function Form Game			
		雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁
		International Journal of Game Theory	有	46	2   0   1   7	pp.715-736
⑦	共著	著者名	論文標 題			
		Eric Guerci, Nobuyuki Hanaki, and Naoki Watanabe	Meaningful Learning in Weighted Voting Games: An Experiment			
		雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁
		Theory and Decision	有	83	2   0   1   7	131-153
⑧	共著	著者名	論文標 題			
		Shin Kishimoto and Naoki Watanabe	The Kernel of a Patent Licensing Game: The Optimal Number of Licensees			
		雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁



		Mathematical Social Sciences	有	86	2	0	1	7	37-50
⑨	共著	著者名	論文標題						
		横手美史暢, 秋山英三	社会ネットワークのサイズと空間構造が文化圏形成に与える影響の分析						
		雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁			
		The Proceedings of the Joint Agent Workshop	有		2	0	1	7	47-52 pages
⑩	共著	著者名	論文標題						
		小坪孝卓, 秋山英三	入札頼母子講における、出資行動と入札行動の進化：エージェント・シミュレーションによるアプローチ						
		雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁			
		The Proceedings of the Joint Agent Workshop	有		2	0	1	7	122-129
⑪	共著	著者名	論文標題						
		Akiyama, E., N. Hanaki, & R. Ishikawa	It is not just confusion!						
		雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁			
		Strategic uncertainty in an experimental asset market	有	127	2	0	1	7	pp. F563-F580
⑫	無	著者名	論文標題						
		Ogura, Y	The Certification Role of Pre-IPO Banking Relationships: Evidence from IPO Underpricing in Japan						
		雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁			
		Japanese Economic Review	有	68(2)	2	0	1	7	258-278
⑬	共著	著者名	論文標題						
		Hanaki, N., E. Akiyama & R. Ishikawa	Behavioral uncertainty and the dynamics of traders' confidence in their price forecasts						
		雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁			
		Journal of Economic Dynamics & Control	有	88	2	0	1	8	pp. 121-136
⑭	共著	著者名	論文標題						
		Hanaki, N., E. Akiyama & R. Ishikawa	Effects of different ways of incentivizing price forecasts on market dynamics and individual decisions in asset market experiments						
		雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁			
		Journal of Economic Dynamics & Control	有	88	2	0	1	8	pp. 51-69
⑮	無	著者名	論文標題						
		Ogura, Y.	The Objective Function of Government-Controlled Banks in a Financial Crisis						
		雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁			
		Journal of Banking & Finance	有	89	2	0	1	8	78-93
⑯	共著	著者名	論文標題						
		Matsushima H.	Connected Price Dynamics with Revealed Preferences and Auctioneer's Discretion in VCG Combinatorial Auction						
		雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁			
		the B. E. Journal of Theoretical Economics	有	18 (1)	2	0	1	8	In press
⑰	共著	著者名	論文標題						

	Robert Veszteg and Yukihiko Funaki	Monetary payoffs and utility in laboratory experiments			
	雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁
	Journal of Economic Psychology	有	65	2018	pp. 108-121

【学会発表】計 (13) 件    うち招待講演 計 (0) 件

通番	発表者名		発表標題
①	Michiko Ogaku		Incentives and information order with applications
	学会等名	発表年月日	発表場所
	44 <sup>th</sup> conference of the European Association for Research in Industrial Economics	1st September 2017	Maastricht University, Maastricht
通番	発表者名		発表標題
②	Michiko Ogaku		Incentives and information order with applications
	学会等名	発表年月日	発表場所
	BEAM Kyoto International Conference	5th November 2017	Ritsumeikan University, Kyoto
通番	発表者名		発表標題
③	大角道子		Incentives and information order with applications
	学会等名	発表年月日	発表場所
	日本経済学会秋季大会	2017年9月10日	青山学院大学, 東京都
通番	発表者名		発表標題
④	Naoki Watanabe		Bargaining Outcomes in Patent Licensing
	学会等名	発表年月日	発表場所
	28th International	July 17, 2017	Stony Brook University, USA

	Conference on Game Theory		
通番	発表者名	発表標題	
⑤	Naoki Watanabe	An Approximation Algorithm for Single-item Multi-unit Auctions: An Experimental Study	
	学会等名	発表年月日	発表場所
	European Meeting of Game Theory (SING13)	July 6, 2017	Paris, France
通番	発表者名	発表標題	
⑥	Naoki Watanabe	Meaningful Learning in Weighted Voting Games: An Experiment	
	学会等名	発表年月日	発表場所
	TCER ミクロコ ンファレンス (DC コンファレン ス),	September 8, 2017	青山学院大学、東京都
通番	発表者名	発表標題	
⑦	Akiyama, E. (with Hanaki, H. and Ishikawa, R.),	Effects of eliciting long-run price forecasts on market dynamics in asset market experiments	
	学会等名	発表年月日	発表場所
	BEAM Kyoto International Conference	November 4, 2017	Kyoto, Japan
通番	発表者名	発表標題	
⑧	Akiyama, E. (with Hanaki, H. and Ishikawa, R.)	Effects of eliciting long-run price forecasts on market dynamics in asset market experiments	
	学会等名	発表年月日	発表場所
	第 21 回実験社会 科学カンファレン ス	October 22, 2017	関西大学

通番	発表者名	発表標題
⑨	Akiyama, E. (with T. Nishikawa, I. Okada, F. Toriumi, and H. Yamamoto),	
	学会等名	発表年月日
	International Conference on Social Dilemmas	22 June 2017
		Taormina, Italy
通番	発表者名	発表標題
⑩	Fu, J., and Y. Ogura	
	学会等名	発表年月日
	The 30th Australasian Finance & Banking Conference	December 2017
		Sydney, Australia
通番	発表者名	発表標題
⑪	Akiyama, E. (with T. Nishikawa, I. Okada, F. Toriumi, and H. Yamamoto),	
	学会等名	発表年月日
	Hawaii International Conference on System Sciences	January 3, 2018
		Maui, Hawaii, USA
通番	発表者名	発表標題
⑫	Yukihiko Funaki	
	学会等名	発表年月日
	BEAM Kyoto International Conference	November 5, 2017
		Kyoto, Japan

通番	発表者名	発表標題
⑬	Yukihiko Funaki	Unbinding Deviations and Stable Coalition Structures in the Cournot Oligopoly
	学会等名	発表年月日
	European Meeting of Game Theory (SING13)	July 6, 2017
		発表場所
		Paris, France

【図書】 計 (2) 件

通番	共著の有無*	著者名	出版社
		松島 斉	三菱経済研究所
①	無	書名	発行年
		「わかりやすさのための制度設計：ゲーム理論と心理学の融合」	2018
			総ページ数
			88
通番	共著の有無*	著者名	出版社
		松島 斉	日本評論社
②	無	書名	発行年
		「ゲーム理論はアート：社会のしくみを思いつくための繊細な哲学」	2018
			総ページ数
			302

\*欧州各国研究代表者との共著がある場合は○、欧州各国研究代表者との共著であり論文内に事業名を明記している場合は◎と記入した上で、明記されている箇所（頁、巻頭、巻末等）を記入。

\*足りない場合は適宜行を追加して下さい。

10. 研究成果による産業財産権の出願・取得状況

【出願】 計 (0) 件

通番	産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	出願年月日	国内・外国の別
①						

【取得】 計 (0) 件

通番	産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	取得年月日	国内・外国の別
①						

11. 本事業に対する要望等